



向陽だより

杉並区立向陽中学校発行
平成 29 年 12 月 15 日 12 月号 (通算 316 号)
<http://www.suginami-school.ed.jp/kouyouchu/>

《教育目標》
◇よく考える人
◇思いやりのある人
◇たくましい人
『人間賛歌』の教育

「下高中」から「向陽中」への鼓動を

校長 菅野 武彦

“いちファン”としては、はらはら・どきどきの日本シリーズだったが、福岡ソフトバンクホークスがプロ野球日本一に輝いた。シリーズ終盤で見せたチームの土壇場での底力にほとんど感服した。今年の日本一で通算 8 回目だが、これには前身の福岡ダイエーホークスの 2 回、またその前身の南海ホークスの 2 回が含まれる。実は私の“いちファン”の歴史はそれほど古くなく、ダイエー時代半ばからだ。南海ホークスにはそれほど関心はなかった。

そこで、球団の歴史を紐解(ひもと)いてみた。「今年で創設 79 周年。南海鉄道を親会社として『南海軍』球団が誕生。当初は苦勞した南海軍だったが、鶴岡一人選手兼監督になり、南海ホークスと改称すると常勝軍団に変貌をとげる。鶴岡監督は 23 年間監督を務め、11 度のリーグ優勝と 2 度の日本一に輝く。その後、野村克也選手兼監督に引き継がれる。野村監督退任後、毎年 B クラスと長らく低迷が続くと、次第に観客動員数の減少が顕著になり球団売却へ。南海はダイエーに譲渡され、本拠地が大阪から福岡に移る。王貞治監督のダイエーホークスは次第に戦力を整え常勝軍団に育つも、親会社のダイエーが業績不振に陥り、ホークスはソフトバンクに譲渡される」。こうしてみると、球団経営は“毎年の戦績”と“親会社の経営状況”に左右されることがよくわかる。

向陽中学校は今年度開校 70 周年を迎え、11 月 25 日に記念授業・記念式典・記念演奏会を行った。記念授業は 27 歳プロキックボクサーから 70 歳医学博士まで卒業生 9 名による「ようこそ先輩！卒業生による授業」だ。詳細は 2 学期末発行予定の P T A 広報誌に譲るとして、参観された保護者・地域の方々に大変好評であった。記念演奏会では歌手の片桐泉様(カズン)

に素敵な歌声とトークをご披露いただき、会場は大いに盛り上がった。70 周年記念の心に残る一コマとなった。

さて、向陽中学校 70 年の歴史を紐解くと、紆余曲折を物語る出来事がある。それは学校名の変更である。開校当初は「東京都杉並区立下高中学校」。9 年後「下高」を「向陽」に改めた。いきさつはこうだ。「生徒の半数近くが近隣の公立中学に越境してしまう実態。そんな中、生徒たちは“イモ高中”とからかわれ、自信をなくしていた。廃校の危機に直面し、地元の人たちから、下高中を守ろうという動きが出てきた。永福地区の人たちには、「下高中」という学校名に地名が入っていないという不満がくすぶっていた。そんな時、学校と地元の人たちが学校の建て直しを話し合った。そして、気分一新とイメージアップのため、校名の変更が発案された。…」(「創立 50 周年実行委員会だより」)

「下高中」から「向陽中」への改名を機に、教職員、地元の大人、生徒、P T A の 4 人 5 脚の学校再建が始まった。極めつきは、運動場の拡張だ。田んぼを埋め立てるために、全職員と全校生徒が昼休み、放課後に土運びをした。まさに“手づくりの運動場”ができあがった。「子どもに自分の体を通して、“自信”と“誇り”を会得させる教育」が始まった(「学校が蘇るとき」学陽書房)。当時を知る卒業生は異口同音に「あの時の先生と生徒はすごかった。何でもやる気にあふれていた」と。

冒頭紹介した「南海」→「ダイエー」→「ソフトバンク」の変遷の底流には、“ホークス魂”という鼓動があった。開校 70 周年まっただ中の向陽中学校が今、ここにある。初冬の肌寒くまぶしい日差しをいっぱい浴びたひまわり色の校舎の鼓動を感じる。それは開校当時の鼓動にも、紆余曲折を乗り越えた変革期の鼓動にも通ずる。この鼓動を悠久に伝えたい。



11月下旬から今日までの主な行事

開校70周年 卒業生による記念授業 記念式典・記念演奏会 11月25日(土)

11月25日(土)。天候に恵まれ、開校70周年記念式典が卒業生による記念授業と片桐泉様による記念演奏会とともに盛大に行われました。式典では生徒代表の田口桐生君が向陽中の発展を誓いました。卒業生の授業は参観者から好評で、記念演奏会は会場全体が盛り上がりました。当日には生徒一人一人が心に残った言葉を紹介した記念誌「こころの言葉」と記念品のクリアファイルが配布されました。同窓会からは大型扇風機と冷水器、PTAからは掲示板が寄贈されました。

卒業生による授業



生徒代表の言葉



記念演奏会



2年生 鎌倉校外学習 12月1日(金)

12月1日、2年生が鎌倉で校外学習に取り組みました。事前に決めたコースを、寒さに負けず時間どおり、班行動しました。時折晴れ間が見られ、紅葉を堪能しながら協力して名所を巡りました。この経験を3年生の修学旅行に生かしてください。



向陽祭展示発表 12月4日(月)～9日(土)

【1年】公共施設訪問 壁新聞

グループで協力して、訪問した事業所で学んだことを壁新聞にまとめました。12月9日(土)の総合学習発表会で報告しました。



【2年】職場体験 個人新聞

7月に5日間取り組んだ職場体験で一人一人が、それぞれの事業所で苦労したこと、学んだことを新聞にまとめました。この経験を将来の進路選択に生かしてください。



【3年】修学旅行 壁新聞

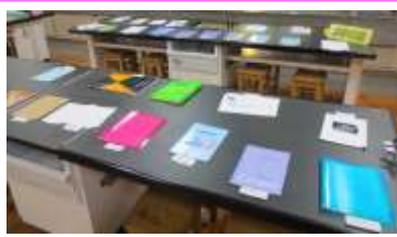
修学旅行の
2泊3日の
思い出を班
ごとに思い
思いの工夫
をこらして
仕上げました。



【英語】1年「Welcome To Koyo JHS」「All About Me」
2年「Welcome To Tokyo」 3年「Japanese Culture」



【理科】1・2年 自由研究、サイエンスグランプリ出品作品



【家庭】1年「刺し子の袋」 3年「保育体験」
【技術】1年「木工 ミニ収納ボックス」



【3年】上級学校訪問 個人新聞



【美術】1年「ふしぎな街」、2年「ポスター」、3年「自画像」「心の中の世界」



【1年】フレンドシップ「一輪挿し」

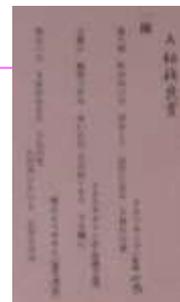
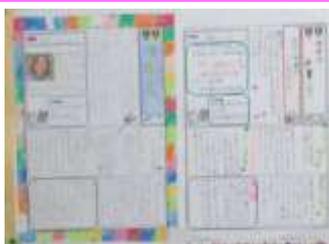
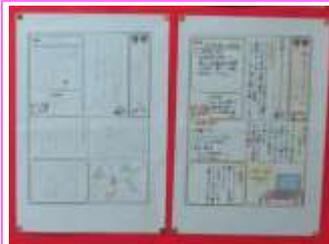
フレンドシップ
スクール初日に
越路荘で作製した
一輪挿しです。



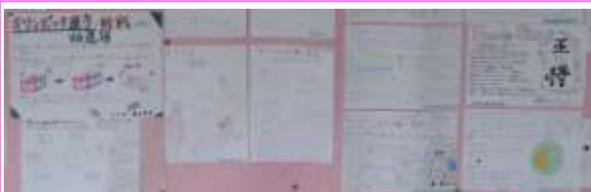
【陶芸部】



【国語】読書新聞（全学年）・短歌（2年生）



【体育】「オリンピック・パラリンピック」新聞（全学年）



総合学習等発表会 12月9日(土)

1年生は公共施設訪問、2年生は職場体験、3年生は修学旅行について代表生徒が工夫して発表しました。英語学芸発表会で最優秀賞を受賞した相賀建君、小笠原自然体験に参加した竹内秀馬君、今村彩紗子さん、海外留学に参加した加納温樹君も成果発表しました。



杉並区中学校対抗駅伝大会 2017 12月10日(日)

快晴の空の下、済美山運動場で駅伝大会が開催されました。二か月にわたる早朝練習の成果を発揮して男子は七位に入賞、女子は十位と健闘し、迫田豊君は見事2区の区間賞を獲得しました。当日は大勢の保護者・生徒のご声援ありがとうございます。



表彰

- 「税についての作文」 杉並納税貯蓄組合連合会 優秀賞 竹内 秀馬君
- バドミントン部 杉並区冬季大会男子シングルス3位 赤羽根 一朗君
- 相賀建君が12月3日(日)に開催された東京都中学校英語学芸発表会に出場しました。
- 杉並区立中学校連合文化祭 美術 技術・家庭科作品展に31名の生徒作品が出品されました。



《今後の予定》(12月~1月)

- 18日(月) 生徒会朝礼 読書会
- 19日(火) 学校運営協議会
- 20日(水) 研修会のため時間割変更
- 21日(木) 保護者会 ①・⑥校時カット
- 25日(月) 終業式



- 12月26日(火)~1月5日(金) 冬季休業日
- 1月6日(土) 凧揚げ大会(青少年育成委員会)
- 9日(火) 始業式 学校運営協議会・合同研修会
④・⑥校時カット
- 15日(月) 全校朝礼
- 16日(火) 一斉・中央委員会

